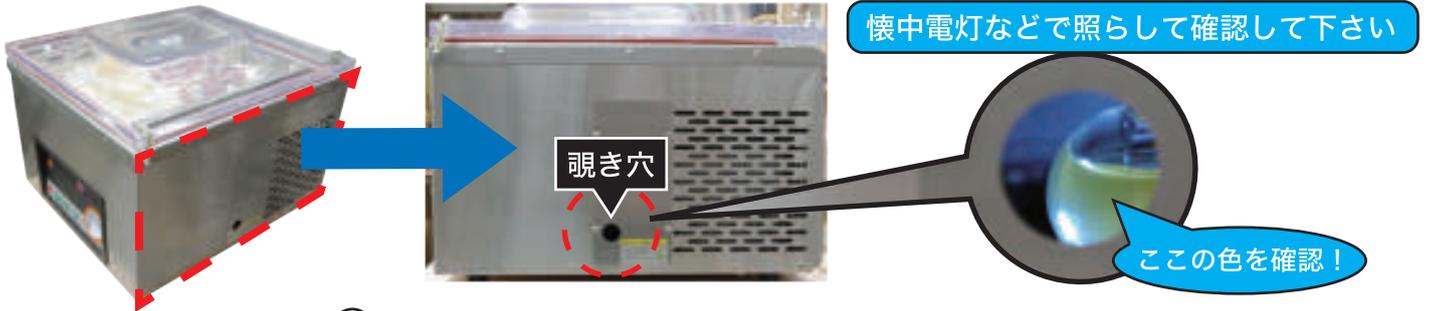
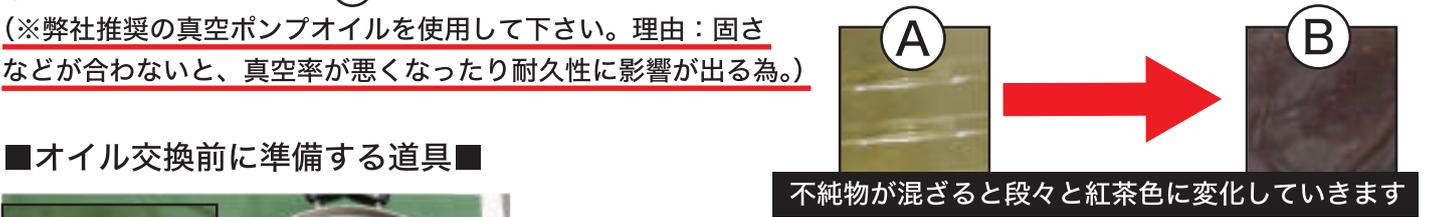


200V用真空ポンプオイルの交換（二人で作業する事を推奨します）

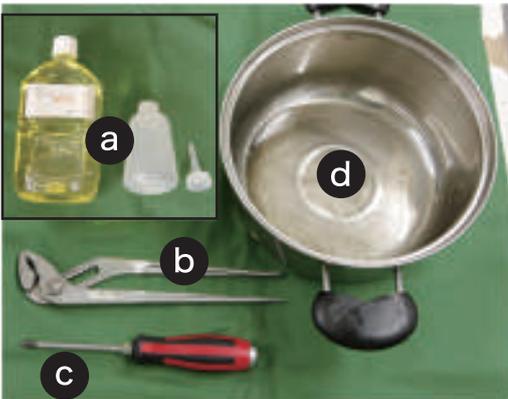
- ①本体右側の覗き窓から、真空ポンプオイルの色を見て汚れ具合を確認します。
(※汚れたまま使い続けると、故障の原因となります。)



- ②真空ポンプオイルの色が(B)色(紅茶色)になったら、オイル交換をします。
(※弊社推奨の真空ポンプオイルを使用して下さい。理由：固さなどが合わないと、真空率が悪くなったり耐久性に影響が出る為。)



■オイル交換前に準備する道具■

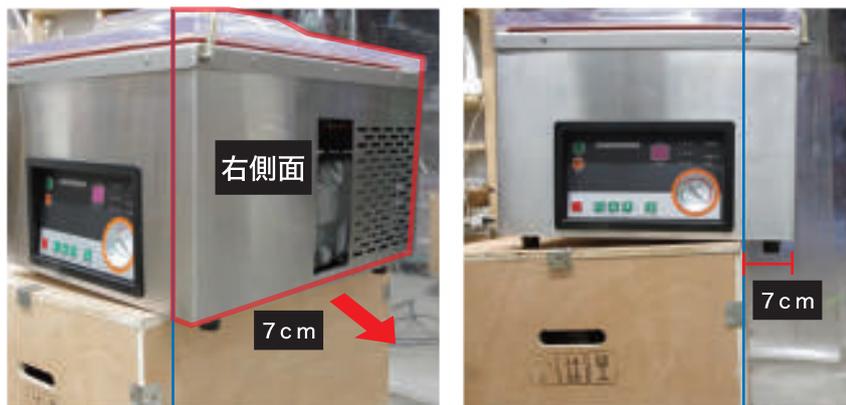


- a: 新しい200V用真空ポンプオイルと、オイル差し
- b: ウォーターポンププライヤー
- c: プラスドライバー
- d: 容器(古いオイルを入れるのに使います。写真では鍋を使っていますが、ボウルや袋でもOKです)

- ③本体右側のパネルのネジを、プラスドライバーで外します。

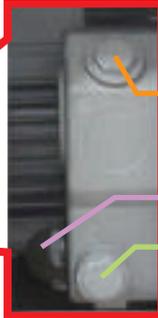


- ④本体を台などに乗せ、右側面を7cmほど出し少し角度を付けます。(オイル排出しやすくする為です。)

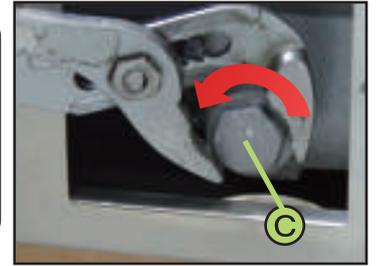


200V用真空ポンプオイルの交換（二人で作業する事を推奨します）

⑤ **C**をウォーターポンププライヤーで緩めます。



- D** オイル注入ボルト
- E** オイル量の確認窓
- C** オイル排出ボルト



⑥ 容器を下に置き、**C**を取ってオイルを排出します。



⑦ 3分程待ちオイルが抜けたら、**C**ボルトを戻して下さい。
 (※無理に全てのオイルを排出しようと、
 本体を傾け過ぎるのは危険ですので、ご注意下さい。)



⑧ 本体の脚を台に戻し、水平にします。



⑨ **D**の注入ボルトをウォーターポンププライヤーで外します。



⑩ 「オイル差し」にオイルを入れます。

⑪ 「オイル差し」で**D**穴にオイルを注入します。注ぐ量は、**E**の確認窓を目安して下さい。
 (※機械の製造年数により、注ぐ量が変わります)



⑫ **D**ボルトを戻し、本体右側のパネルをネジ留めし、オイル交換の作業完了です。

※2015年製以前の機械で、【6割】のオイル交換をして真空率が悪くなった場合は、
オイルが少ない可能性があります。その際は、オイル量を【8割】にして下さい。